

會社、実行不可能なる要求、却て紛争ヲ起ス基ナレバ  
職工側、希望程度ト會社、実行シ得ル程度ト斟酌シ決  
定セリ

第三項 削除 (皆勸業手)

會社ニ於テ、実行不能

第四項 兼認 (病院改善)

第五項 改訂 (解雇手當)

一年未満ハ十八日一年ヲ増ス毎ニ七日分

第六項 改訂 (養老積立金支給)

田溝退職、場合ニ限リ、其半額ヲ支給ス

第七項 兼認

追加 委名制、及ハ時期尚早ノ故ヲ以テ、削除、守衛、態度  
及テ改ムルハ會社トシテ、大イニ希望スル所ナルヲ以テ、改善スベキ

其ハ申出ニ依リ、注意ス

以上

(十月 六日)

七日朝柴岡社長ハ、妥協案ヲ承認シ上京シ、本社ニ令岡事務ヲ  
討ヒ巨細報告、大體ニ於テ妥協事項ニ對シ兼認ヲ受ケ同趣  
帰社セリ

八日午前十時頃、令岡事務取締役ハ浦畑ニ來リ、直々ニ柴岡  
社長、横川副社長、橋経理部長、副島造船部長、牛奥  
造船部長、高村竣工課長等ト幹部會議ヲ(天キ午前一時  
或ニ側、実行委員九名ト會見シ、語テ曰ク、近時起ル神戶及  
横濱等ノ要求運動ハ、何レモ態度不穩ニ互リ、其解決ヲ困  
難ナシムルナリ、然ルニ諸君ハ前者ト反シ穩健ニテ連ニ懇談ニ及